２０２３年度　２学年通信
桃 李 成 蹊（とうりせいけい）」

甲府東高等学校
2023．4．21(金)
第2号

「学年通信」は、生徒の皆さんが読み終わった後、必ず保護者の方に渡してください

AI 時代の文系・理系

学年主任　遠藤　祐也

２年生として文系・理系に分かれてより専門的な学習が始まっていますが、順調にスタートできているでしょうか。私のこれまでの経験を踏まえての話なのですが、２年生になって文系・理系に分かれてしまうと、自分が属さない「系」の学問が疎かになってしまう生徒が少なからずいます。そして３年生になるとその傾向はさらに強くなり、主たる関心事は「入試科目であるか否か」、入試科目に含まれない科目や実技系の教科に対する熱意が急激に失われる生徒がいます。

昨年１１月にチャット GPT が公開されて、その優れた性能と可能性、そしてその背後にあるリスクに社会の大きな関心が寄せられています。私が高校生の時にはまだ携帯電話も身近にありませんでしたが、その後の技術の進歩はめまぐるしいものがあります。CD やカセットテープなどの音楽記録媒体はいつの間にかなくなり、町にたくさんあったレンタルビデオ店や書店の多くがなくなりました。テレビ電話だって私が高校生の時にはドラえもんの中でしか登場しませんでしたが、今では学校の授業もライブでリモート配信しています。こんな時代が来るとは、当時の遠藤少年は考えもしませんでした。

さて、少し前から大学で増えている学問系列があります。それは「リベラルアーツ(教養教育)」に関する系列です。東京工業大学リベラルアーツ研究教育院長の上田紀行教授は次のように述べています。

「高校生の皆さんはどうしても入試に出る科目を集中して勉強すると思います。そうすると例えば理工系では『数学と物理と化学には詳しいけれど、それ以外の分野はほとんど知らない』といった学生が、文系でも『法律や経済は知っているけど、科学技術も文学も知らない』といった学生が増えてしまいます。でもそうやって一つの分野のことしか知らない人が社会に出ていった場合、その人は社会のいろいろな問題に対処することができるでしょうか？ 現代社会の問題はさまざまな要因が絡まり合っています。例えば原発の問題に対処するにも理科系と文系の両方の知識が必要です。高齢化の問題に向き合うにも、心理、経済、社会福祉などのさまざまな分野の知識が必要になるでしょう。専門教育だけを受けてきた人が『役に立つ』とは限らないのです。むしろ幅広い『教養』を持っている人が必要とされているのが現代なのです。」

上田教授が最後に述べた『現代』に、さらに進化した AI が入り込んできます。知識やすでに世に出ている技術について、人間は AI にとてもかないません。でも人間でも AI に勝てることがあります。それは「０から１を作ること」です。そのために必要な力、それは想像力と創造力ではないかと思います。でも人間は自分にない知識や経験からは想像も創造もできません。受験科目に不要だからと自ら知識や経験にブレーキをかけてしまう人間が将来の社会課題を解決できるとは思えません。みなさんは高校生の時の私よりずっと賢く、道理がわかっています。目先の利益に惑わされず、大局的な視点で日常の学習に向き合ってほしいと思います。ところで、人間が AI に負けないようにするにはどうすればよいのか、チャット GPT に尋ねてみました。「**AI と人間の相補的な能力を活かす：AI には優れた処理能力や精度がありますが、人間には感性や創造性、柔軟性といった面で優れています。つまり、AI と人間がお互いの得意分野を活かすことで、最適な結果を得ることができます。**」……ほらね。

最初が肝心　　１組担任　　平 嶋　純

今朝も走った。寒くて手袋をしてスタートする。途中から汗が出てきて、家に着くころには手袋を外している。リビングへ戻るとストーブの前で暖をとっている息子がいる・・・「ストーブ消しくれ」と内心思っている。

怒涛の４月が過ぎようとしている。教員にとって４月は時間との勝負だ。会議があり、締め切りがあり、配布物・回収物があり、授業準備があり、・・・いつの間にか桜が散り、葉桜となっている。時の流れが早い。

かつて 20 代のころに先輩の先生から言われたことがある。「最初が肝心」。当時は言葉だけが頭の中に残り、深く考えたことがなかった。３０代になり、責任ある立場が回ってきた。水泳の大会、強歩大会、顧問会議、・・・などとりまとめ役をしていくとその言葉の大切さを強く感じるようになった。相手の顔と名前が一致しない。それでも最初の会議で提案をしていかなければならない。会議の前にいかに準備を進めていくか。わかりやすく説明して相手が理解してスムーズに行動できるようにするために。初対面で顔合わせして名前をすぐに憶えて、急な依頼を受け入れてもらえるようにするために。

年度当初のクラスも同様だ。最初にわかりやすい説明で納得してもらい高い意識の行動パターンを習慣にする。最初に高いレベルで行動できることがスタンダードになり、最後まで維持するだけなので気持ちは楽なのだ。

「最初が肝心」と言われる理由は理解できただろうか？

新年度となり新たな出会いがある。最初が肝心です。人間関係の築き方、生活リズム、授業や勉強への意識、・・・準備を整え、少し高いレベルでスタートを切ろう。慣れてきたときにはスムーズに事が運ぶだろう。

そう思いながら仕事をしているが、やっぱり４月はきつい。早く帰りたい。睡眠時間を確保したい。でも、走ろう。今年中にハーフマラソンで１時間半を切るために。汗をかいて爽快な気持ちで朝をスタートしよう。ただ、ストーブは消してくれ、熱い。

５月の主な行事予定

５月 １日（月）　PM カセット▼　　第１回バイク通学者説明会（放課後）
　　２日（火）　④⑤⑥第１回生徒総会・壮行会
　　９日（火）　④～ 総体準備
　　10 日（水）　高校総体（一般生徒：応援）　～12 日（金）
　　（本校：バレーボール競技会場）
　　11 日（木）　①～③特編授業
　　15日（月）　AM カセット▲　　耳鼻科検診（13:20～ ２年抽出 蒼龍館）
　　16 日（火）　第１回定期試験時間割発表 ， 学習強化週間
　　17 日（水）　登校時マナーアップ運動
　　19日（金）　⑤交通講話（全学年）
　　22日（月）　キャリアオリエンテーション⑦
　　23 日（火）　第１回定期試験　～26日（金）
　　28日（日）　学園祭準備期間（～６／15）
　　29 日（月）　生徒休業日
　　30日（火）　植花作業(放課後)